

とうげこう もくひょう
登下校の目標

- 自分の安全と安心、友だちの安全と安心のどちらも大切にします。
- 事故や災害からの身の守り方を理解し、行動につなげましょう。
- 地域の方々や、わたしたちを見守ってくださる人たちへお礼の気持ちをもって、マナーよく、挨拶ができるようにしましょう。

とうこう
1. 登校

- (1) 朝は、8時00分に門を開けますが、地区ごとに決められた時刻に学校に着くように登校しましょう。
- (2) 一度登校してきたら、門から出たり、忘れ物をとりに帰ったりすることはできません。

げこう
2. 下校

- (1) 下校するときは、通学路をとって家まで帰ります。
- (2) 通学路を外れて友だちの下校路をとったり、友だちの家へ寄りかかるとか、（いつも帰る時刻に家につかなくて、おうちの人が大変心配します。また、学校や警察も探すことになります。）
- (3) 習い事などは、一度自分の家に帰ってから行くようにしましょう。

あんぜん
3. 安全について

- (1) 通学路は、列が横に広がらないように気を付けて道路の端を歩きましょう。
- (2) 「歩行者用信号」の意味を知って、自分で判断しましょう。友だちを追いかけて、赤信号や青の点滅の時は渡りません。

と
① 赤信号 「止まれ」… 渡りません

すす
② 青信号 「進んでよい」… 「右・左・右」を自分の目で確認しましょう。青になってすぐは、車が猛スピードで通り抜けることがあります。

③青の点滅「止まれ」… 歩道にいたら、渡り始めてはいけません。すでに渡り始めていて、渡り切れるなら、渡ってもよいですが、渡り切れないならもどります。

(3) 交差点では、必ず一人ずつ「右・左・右」を確認して渡ります。

(4) 「止まれ」の字が書いてある場所では、交差する道路を車が止まらずに来ることがあります。しっかりと止まって、「右・左・右」を確認して渡りましょう。

(5) 信号を待つときには、安全のために車道から2歩離れて待ちましょう。

2歩が無理なときは、できるだけ車道から離れて待ちましょう。

4. 安心について

全員が安心して登下校できるように、次のことをしっかりと守りましょう。

①走らない（走ることで、登下校中にけがをする人がたくさんいます。）追いかっこをしたり、ふざけたりすることもしません。ふざけているつもりでも、人のことをたたいたりけったりすると、相手がとても辛い思いをすることになります。絶対にしません。

②石やカンなど、道に落ちているものをけりません。けったものが人や車などに当たると、大きなトラブルになります。

③人の土地の駐車場やマンションの入り口に入ったり、通り抜けたりしません。

④車やおうちのチャイム、人の家のものにさわりません。

⑤ランドセルを人に背負わせたり、人のランドセルを引っ張ったりしません。

⑥よくない行いを友だちがしていたときには、流されずに自分自身で正しい判断ができるようにしましょう。（友だちに合わせて流されていると、エスカレートして、事故や迷惑行為、いじめにつながっていくことになります。）

5. 安全のための知識と対策

(1) 大雨

①長靴やレインコートなど、濡れない対策をしっかりとしましょう。

②滑って転ぶことのないように、十分に注意して歩きましょう。

(2) 雷・竜巻

- ① 雷の音が聞こえたり、稲光が見えたりしたときには、雷が落ちる場合があります。また、大きな入道雲(積乱雲)があると竜巻が起きる場合があります。なるべく素早く建物の中に入りましょう。
- ② 雷・竜巻の危険があるときには、学校は下校を見合わせる場合があります。

(3) 地震

- ① 通学路に、急な崖、ブロック塀、古い家や建物、看板、自動販売機などがあると倒れてくることがあります。普段からチェックをしておきましょう。
- ② 方が一、登下校中に立ってられないほど大きな揺れを感じたら、できるだけブロック塀や、「落ちてくるもの・倒れてくるもの」がない場所に少しでも動きましょう。
- ③ 「落ちてくるもの、倒れてくるもの」がある場所で、動けなかったり、逃げる場所がなかったりしたら、ランドセルを頭の上にして、頭を守りましょう。
- ④ 学校に行く(戻る)か、家に帰るか、通学路のどこの地点で判断するかを日頃から決めておきましょう。迷う場合には学校に来て(戻ってきて)ください。

(4) 防犯

- ① 下校時なるべく一人にならないように、できるだけ二人以上で帰れるようにしましょう。
- ② 日頃から「子ども110番」のおうちやお店などを確かめておきましょう。危険を感じたときや困ったときには、助けをもとめましょう。
- ③ 不審な行動(連れて行こうとする、車に乗せようとする、本当でなさそうなことを言って連れて行こうとする、暴力をふるう)などのことがあったら、次のようにしましょう。
- 大きな声で「助けて!」と叫ぶ。
 - 「子ども110番」のおうちやお店に駆けこんで、助けをもとめる。
 - 必ず警察への110番をしよう。
 - おうちの人や学校に知らせる。何時間も経ってから連絡があっても、警察はその人を見つけることができません。なるべく早く警察に連絡ができるようにすることが大切です。

まん いち げこうちゅう とも こ たいおう こま
万が一、下校中に友だちが子どもたちだけでは対応できないようなケガをした／とても困ったこ
とが起きてしまった などというときには、「子ども110番」のおうちやお店に助けを求めましょ
う。または、がっこう もど せんせい し
う。または、学校に戻ってきて先生たちに知らせてください。

6. 登下校中のマナー

「こんなことされたらいやだな」と感じることは、一人ひとりちがいます。

だから、【自分がされたらいやなことは人に対してもしない】ではなく、

【その人がされたらいやだと感じることはしない】ということ全員が守りましょう。

ほどうきょう や、せま みち つうこう ひと ちが
歩道橋や、狭い道などで、通行する人とすれ違うときには、おしゃべりをやめ、一列になってすれ
ちが
違うようにしましょう。

とうげこうちゅう
登下校中には、みなさんの安全を守るために協力していただいている地域や保護者の方とたくさ
ん出会うと思います。また、マンションの管理人さんや近所の方も、みなさんの安全を見守って
くださっています。自分たちから、「おはようございます。」「さようなら。」「ありがとうございます。」
などの挨拶をするようにこころがけましょう。